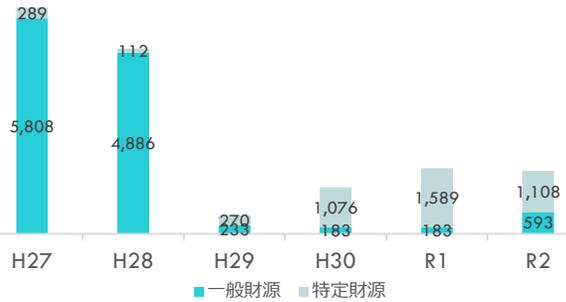


幼児教育課

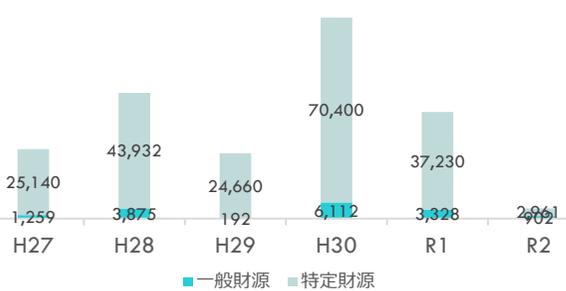
経常的経費の財源(万円)



臨時的経費の財源(万円)



普通建設事業費の財源(万円)



現状と課題

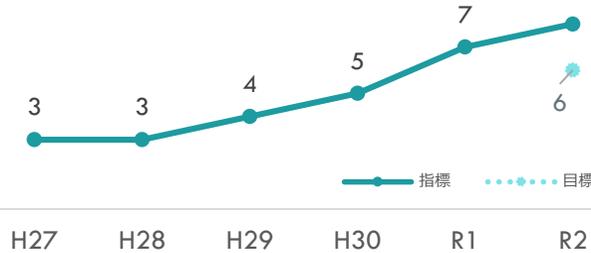
保育園、こども園において、質の高い教育・保育を提供するため、職員のスキルアップを図り、安全安心な施設管理に取り組む一方、総合的な子育て機能を有する幼保一体型施設の設置を計画的に推進しています。

また、子育て支援などの多様な保護者のニーズに対応するため、保育園における延長保育や、各園での子育て相談等を実施しています。

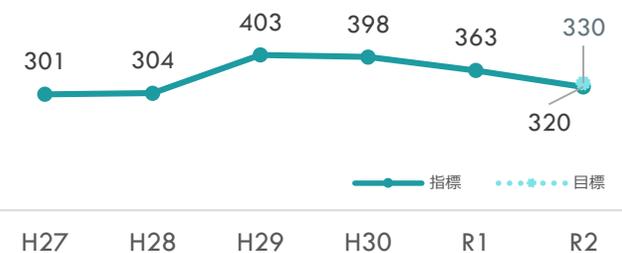
今後は、家庭の力、地域の力、教育の力、医療の力、福祉の力を集結し、就学前から小学校へ滑らかにつなげていくことが重要です。

成果指標

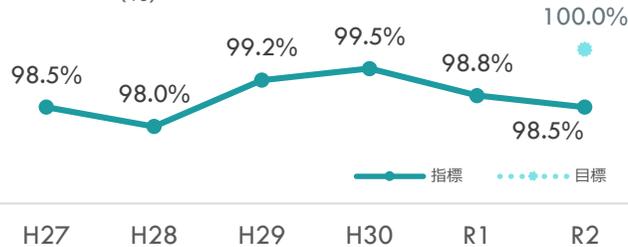
幼保一体型施設整備園(開園数)



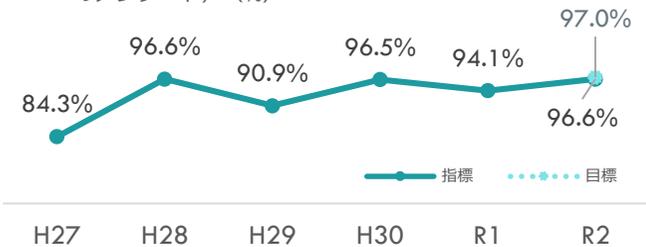
延長保育利用人数(人/年)



4, 5歳児の就園率(保育園、幼稚園、こども園)(%)



保育園、幼稚園、こども園に対する満足度(保護者へのアンケート)(%)



指標の説明・・・

上記の各指標は、就学前教育・保育の施設整備や指導、運営体制の充実を示すものです。特に、保護者へのアンケートによる保育園、こども園に対する満足度は、市民の施策に対する満足度に直結する指標であると考えます。

課題に対する主な取組

| 課題 | 課題に対する主な取組 | 概要 | 臨経区分 | 予算執行(万円) | 特定財源(万円) | アウトプット(どのくらいの事業や取組を行ったか) | アウトカム(どれだけの成果が得られたか) |
|----------|----------------------|-----------------------------------|---------|----------|----------|--------------------------|------------------------|
| 待機児童の解消 | 小規模保育所整備事業 | NPO法人が整備する小規模保育所整備に対して補助する。 | 普通建設事業費 | 1,196万円 | 1,063万円 | 補助金交付件数 1件 | 令和3年度中に開設予定(R2年度は指標なし) |
| 保育環境の充実 | 保育・教育の環境整備(保育園・こども園) | 保育環境の充実を図るため、保育室・トイレ・空調設備等の改修を行う。 | 普通建設事業費 | 2,812万円 | 1,620万円 | 保育室、トイレ・空調設備等改修 | 保育環境及び衛生環境の向上 |
| 子育て支援の充実 | 保育料無償化事業 | 子育て支援の充実と若い世代の定住促進を図るため保育料を無償化する。 | - | - | - | 保育園・こども園園児数 795人 | 0歳児～5歳児の入園率 71.0% |
| 待機児童対策 | 認可外保育施設等利用助成金 | 認可外保育施設等に入所する児童の保護者に対して保育料を助成する。 | 経常的経費 | 567万円 | 324万円 | 助成金対象児童 27人 | 待機児童数の減少(R1年度18人⇒8人) |
| 保護者就労の支援 | 延長保育事業 | 保護者の就労形態の多様化、通勤時間の増加等に延長保育で対応する。 | - | 保育士人件費外 | - | 延長保育児童 320人 | 保護者の就労確保への対応 |

施策の評価

| | | | |
|-------|----|--------|---|
| 一次評価者 | 役職 | 幼児教育課長 | 認定こども園の整備は順調に実施されており、併せて保育環境の維持・充実を図るため、施設の状況を把握しながらの施設整備も図られている。子育て支援の充実と若い世代の定住促進を図るための保育料無償化などにより市民満足度は高いものの、0歳児から2歳児で待機児童が発生している状況である。保育需要への対応と質の高い保育を提供するため、保育教諭等の人材確保や研修による人材育成、さらには業務負担の軽減に向けた取り組みが必要である。また、民間による小規模保育所整備に対する補助や認可外保育所等利用に対する保育料助成などにより引き続き待機児童の解消に努めることとしている。 |
| | 氏名 | 竹林 幸作 | |
| 二次評価者 | 役職 | 教育部長 | 現在までに、年次的な施設整備及び保育環境整備の推進とともに、保育料の無償化の実施と、延長・一時保育需要への対応に取り組むことができています。今後も、これらの取組を継続し保護者満足度の向上に努めること。待機児童の解消に向けて人材確保はもとより、多様な補助及び助成制度の活用にも努めること。職場環境の整備としてICT化導入等による業務負担の軽減効率化に取組み、質の高い保育を安定して提供していくことが重要である。 |
| | 氏名 | 石原 史章 | |